

今が理想、続けることが未来につながる

8年前に広報おおずの取材を受けました。この時、地元大洲に戻り、家業を継いだこと、故郷に戻って良かったと感じていることなどをお話ししました。

その後、お客様をはじめ、地域や業界のみなさまとのご縁が広がり、建築事務所（東大洲）を新設することができました。40年前に創業し、今も棟梁として家業に関わる父の存在を意識しながら、二代目として大工3人、プランナーの妻とともに相談・設計・施工を一貫して行う丁寧な家づくりに取り組んでいます。地元産木材を使い、自然素材を生かした、生活しやすい家を提供していくことが私たちのモットーです。

一方で、仕事以外にも、これまで大洲青年会議所理事長（2020年）、喜多小学校PTA会長（令和5・6年度）を経験させていただき、現在は大洲商工会議所青年部や、大洲高校PTAでの活動を通して、地域経済や身近な暮らし、教育など、郷土の将来を考えることも多くなってきました。3人の子供たちの成長を見守りながら、まずは仕事を大切に、生活のバランスをとっていきたいと思っています。

お客様にとって、一生に一度とも言える家づくりを理想に近づけ、幸せな生活を送ることができるようになっていくことが私たちの使命です。こうした目標に取り組んでいる今が、まさに理想の形であり、家づくりを一貫して行う今のスタイルを続けていくことが、未来につながっていくのだと感じています。

前回の取材時に「大洲に戻ってきてよかった」とお話ししました。そして、今もその思いは、変わっていません。これからも、未来につながる今を着実に歩んでいこうと思います。

未来を拓く

～次代へつなぐ～



こま^{ほうす}HAUS

(梶本建築+こま設計室 一級建築士事務所)

代表

梶本 ^{まさふみ} 雅文 さん

趣味は、ゴルフや釣り。「適度なリフレッシュが仕事にも良い影響を与えています」と語る44歳。

大洲の風景



富士山 5月7日(木)撮影

今月の表紙



園児たちは、「大きくなってね！」と声をかけながら、小さな手で大事そうに運んだ稚アユを、笑顔で見送っていました。